分散型再エネ地域システム分科会（第２回）

日時　2022 年 12 月 13 日（火）1000-1255

場所　日本プレスセンター９F 小会議室、オンライン併用

参加者　現地９名、オンライン 13 名

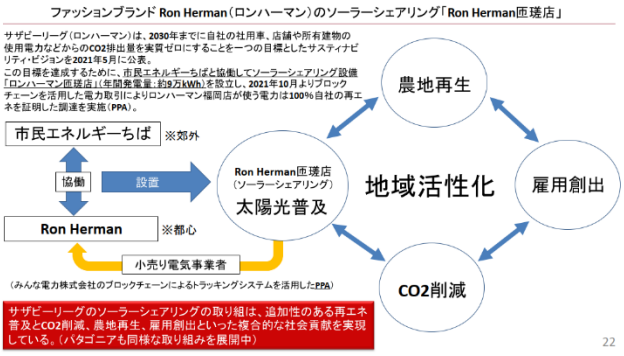
１．メンバーによる再エネ事業事例のご紹介

①J＆T 環境の地産地消型リサイクルへの取組み　J&T 環境　露口様

- 循環型社会に向けた 2 本柱「水平リサイクルの実施（ペットボトル、ブルーシート）」と「地産地消型リサイクルの普及（食品廃棄物から電力・肥料の循環）」に関する事業紹介及び質疑応答を実施した。

②企業のサスティナビリティ経営の推進と地域の営農型太陽光発電事業の展開　東京財団政策研究所　平沼様

- 世界的な脱炭素の潮流における企業の再エネ調達ニーズの高まりと、耕作放棄地を含む農地での営農型太陽光発電のポテンシャル確認、及び具体的な取組事例として、匝瑳ソーラーシェアリングの事例紹介及び質疑応答を実施した。



２．分科会の目的及び進め方に関する意見交換

- 分科会の方向性を見えるような形で議論するためにマトリックス表（次ページ）を提示、再エネ発展のセオリーや目的に対して最も有効に発展していくことができるシナリオをどう描けるのかに焦点を当てていくことを提案し、メンバーの賛同を得た。
- 地域への再エネ大量導入の実践として環境省の脱炭素先行地域の事例に着目、読み解きの途中経過を紹介した。今後、脱炭素先行地域の調査については必要に応じて分科会メンバーとヒアリング、視察することを確認した。

分散型再エネ地域システム分科会（第３回）【予定】

日時　2023 年 2 月 14 日（火）1500-1730　※終了後懇親会開催

場所　日本プレスセンター９F 小会議室、オンライン併用

議題案　１．メンバーによる事例のご紹介パート２

①　「木質バイオマスの堆肥・エネルギー事業から始まるバリューチェーン構築に関する事例紹介（仮）」北陸ポートサービス　加治様

②　「シナネンホールディングスの再生可能エネルギー事業と地域での展開」シナネン　高橋様

２．脱炭素先行地域事例にみる再エネ事業について（那須塩原市のヒアリング結果報告等）

３．次年度の進め方に関する意見交換

分散型再エネ地域システム分科会（第４回）【予定】

日時　2023 年 3 月 23 日（木）1300-1500

場所　日本プレスセンター９F 小会議室、オンライン併用

議題案　「地域再エネ導入に向けた送配電事業者の役割（仮）」　東京電力パワーグリッド　岡本副社長

分散型地域再エネビジネスの発展型道筋の検討

再エネ事業規模の拡大

A
会員企業の既存設備での利用リソース

・食品バイオマス
・木質バイオマス
・廃プラスチック
・その他

B
再エネ追加のための利用リソース

・バイオマス
・太陽光
・風力
・小水力
・その他

C
外部事業者との連携

・太陽光・風力
・小水力
・バイオマス
・自治体の焼却炉
・その他

目的
（目指すもの）

・地域のCN需要
・企業のCN需要
・農林水産業振興
・自治体の取組
・レジリエンス
・ＥＶ電源
・地域の環境ブランド、価値
・その他

再エネ価値増大のための新規技術の導入

D　配電方法
電力系統利用（自己託送、小売電気事業経由）、自営線利用（自家消費、特定供給）

E　エネマネシステム

F　蓄エネマネシステム
・LIB/EV/EVセカンドライフ　・蓄熱　・水素製造　・その他

G　炭素回収・貯留・利用（CCS）